

一般質問

林業振興について問う



橋本 恒夫 議員

問 政府は、今後10年以内に国内林業の基盤造りと、需要拡大による木材自給率を50%以上とする「森林・林業再生プラン」を作成し、新成長戦略・国家戦略プロジェクトとして平成23年度より本格実施することとしている。このプランを実行する場合に当面の課題を問います。

答 産業経済部長 森林整備計画を見直す中で林業再生に努めます

問 再生プランの最大の課題は、森林計画制度の見直しと、森林所有が小規模分散的な構造にあることです。

答 産業経済部長

再生プランの最大の課題は、森林計画制度の見直しと、森林所有が小規模分散的な構造にあることです。

問 備かる林業と地元材の活用について問います。

答 再生プランに基づく国の施策を積極的に取り入れながら、路網整備と面的まとまりをもった施業の集約化による利用間伐を促進し、地元材の供給量の拡大と安定した流通体制の確立を目指します。

問 治山事業では砂防堰堤が必要ですが、そのための作業道がつけられない場合が多く、仕事が出来ないの苦情があります。その対策について問います。

答 治山事業の発注者である県の担当局と今後十分調

整を図ります。



大雪による倒木

ます。

整を図ります。

問 獣害対策として電気柵が設置されているが、そのことにより重機の出入りが出来ないことや、木材の搬出が出来ないなどの苦情があります。その対策を問います。

答 電気柵設置の区や自治会、森林組合等、林業事業者と十分な連絡調整を行い、適正な施業に努められるよう配慮いたします。

問 市内における外国人の森林買収の実態について問います。

答 現時点においては、外国資本による森林買収は確認しておりません。

問 市内における外国人の森林買収の実態について問います。

答 現時点においては、外国資本による森林買収は確認しておりません。

その他の質問

◆ コミュニティバスの利用について
◆ 上下水道における課題とその対策について

一般質問



救命率向上が期待されるドクターヘリ

ヘリの導入について検討されてきましたが、医師等の確保が難しいことや、運航費用等の負担が多くなることから、大阪府との共同利用で導入されることになりました。現在、こつした動きを受けて、消防機関、受入医療機関、大阪府、基地病院等におきまして、共同利用に向けての協議、調整がなされています。

島市には25分程度で到着し、搬送時間も大幅に短縮されることから、重篤患者の治療が早期に開始でき、後遺障害の軽減と救命率の向上が図られるものと考えます。

その他の質問

◆ 介護保険を利用した「住宅の改修」について

この共同利用については、大阪府ドクターヘリによるものであり、大阪府吹田市の大坂大学医学部付属病院の基地から高島市には25分程度で到着し、搬送時間も大幅に短縮されることから、重篤患者の治療が早期に開始でき、後遺障害の軽減と救命率の向上が図られるものと考えます。

子育て環境の公的保障を



福井 節子 議員

問 市は、市民の保育実態をつかみ、公的責任を果たさなければなりません。

答 健康福祉部長 市は、市民の保育実態をつかみ、公的責任を果たさなければなりません。

問 新システムでは、市の保育責任を無くし、保護者と園との直接契約となり、障がい児などの入所が困難になるのでは。

答 市長のマネジメントに基づき設置するものであり、国の新システムを先取りしたものではありません。

問 新システムでは、市の保育責任を無くし、保護者と園との直接契約となり、障がい児などの入所が困難になるのでは。

問 安曇川の私立3園の整備計画は。
答 安曇川地域の整備は、国等の財源確保の目途や3園の均衡を踏まえて順次整備していただく考えです。



地元農産物でおいしい給食を

問 高島では地場産の食材で賄えた物も、食数が多くなれば地場と市外の食材を混ぜて使用し、農家との交流も薄れ、地産地消推進に逆行するのでは。

答 地元農産物は、統合後も引き続き地域の食材を使用し、使用割合を高めてまいります。

問 高島学校給食センターは「基準」に適合

していないとのことですが、新旭センターをはじめ、全国には適合しないセンターが多数あり、耐用年数も残っており、継続使用すべきでは。
答 高島学校給食センターは「学校給食衛生管理基準」に適合しておらず、施設の改善を必要とするところから存続は考えておりません。

「空飛ぶ病院」ドクターヘリについて



小島 洋祐 議員

問 医師や看護師、そして医薬品や医療機器を積んで現場に急行するドクターヘリは、まさに空飛ぶ病院です。心臓発作や脳内出血、交通事故など、救急患者の一刻を争う事態に対応し、多くの命を救ってきました。「完治できたのはドクターヘリのおかげです」と語るのは、ペランダから転落し脊髄を破裂骨折した北海道の男性です。現場は専門病院まで車で4時間もかかる距離でしたが、ドクターヘリによってわずか25分

で到着。すぐに緊急手術が行われ、職場復帰ができるまで回復しました。また「ドクターヘリに本当に感謝しています」と語るのは福島県の女性。友人宅で

倒れた彼女は、くも膜下出血で意識を失い非常に危険な状態でした。救急隊員の判断でドクターヘリが要請され、車だと1時間かかるところを5分に短縮しました。呼吸停止状態だった彼女には適切な救命処置がとられ翌日には意識を取戻し、今ではすっかり元気に過ごしています。滋賀県においては大阪府ドクターヘリとの共同利用で、近畿で唯一ドクターヘリが飛ばない空白地域でありましたが、3月より運航が始まることについて伺います。

答 滋賀県では、救命救急センターから離れた地域での救命率の向上と後遺障害の軽減を図るため、ドクター

ヘリは、くも膜下出血で意識を失い非常に危険な状態でした。救急隊員の判断でドクターヘリが要請され、車だと1時間かかるところを5分に短縮しました。呼吸停止状態だった彼女には適切な救命処置がとられ翌日には意識を取戻し、今ではすっかり元気に過ごしています。滋賀県においては大阪府ドクターヘリとの共同利用で、近畿で唯一ドクターヘリが飛ばない空白地域でありましたが、3月より運航が始まることについて伺います。

答 滋賀県では、救命救急センターから離れた地域での救命率の向上と後遺障害の軽減を図るため、ドクター

ヘリは、くも膜下出血で意識を失い非常に危険な状態でした。救急隊員の判断でドクターヘリが要請され、車だと1時間かかるところを5分に短縮しました。呼吸停止状態だった彼女には適切な救命処置がとられ翌日には意識を取戻し、今ではすっかり元気に過ごしています。滋賀県においては大阪府ドクターヘリとの共同利用で、近畿で唯一ドクターヘリが飛ばない空白地域でありましたが、3月より運航が始まることについて伺います。